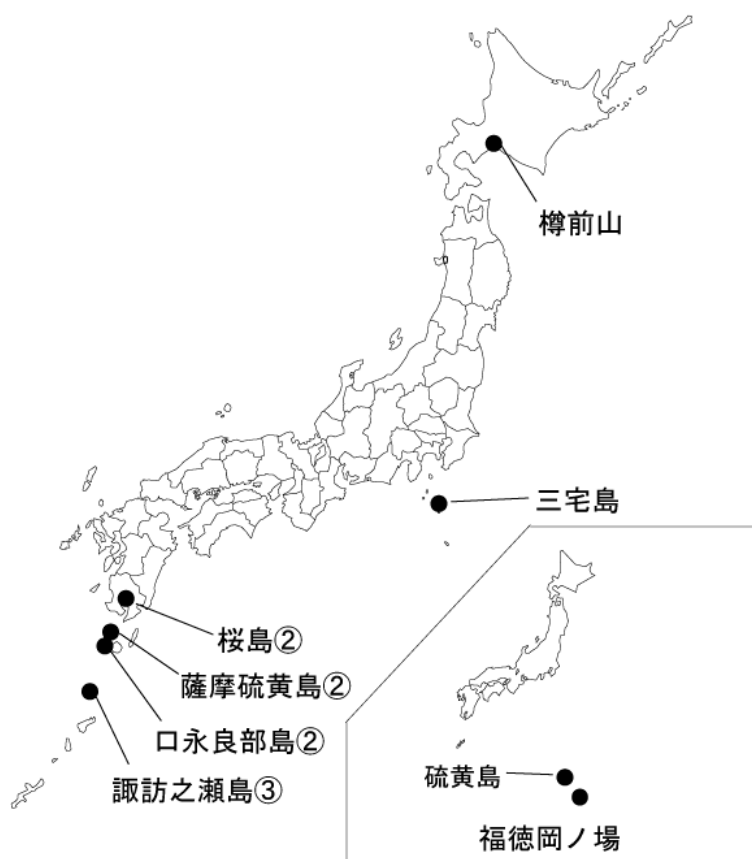


2. 火山の概況 (平成 19 年 6 月 22 日 ~ 平成 19 年 6 月 28 日)

活動が活発もしくはやや活発な状況の火山

- 樽前山 [やや活発な状況] : A 火口及び B 噴気孔群では高温状態が続いていると推定される。
- 三宅島 [やや活発な状況] : 多量の火山ガスの放出が続いている。
- 硫黄島 [やや活発な状況] : 大きな隆起の地殻変動はやや鈍化しながら継続している。
- 福徳岡ノ場 [やや活発な状況] : 火山活動によるとみられる変色水が確認された。
- 桜島 [比較的静穏な噴火活動 (レベル 2)] : 今期間、噴火は観測されなかったが、長期にわたり噴火活動が継続している。
- 薩摩硫黄島 [やや活発な状況 (レベル 2)] : 噴煙活動はやや活発で、火山性地震はやや多い状態が続いている。
- 口永良部島 [やや活発な状況 (レベル 2)] : 火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。
- 諏訪之瀬島 [活発な状況 (レベル 3)] : 今期間、噴火は発生しなかったが、長期にわたり噴火を繰り返すなど火山活動の活発な状態が続いている。



注 1 本資料中で記したレベルとは、火山活動度レベルを導入した火山におけるレベルを言う。

注 2 記号の意味

- ▲ : 噴火した火山
- : 活動が活発もしくはやや活発な状況の火山
: 静穏な状況であるが観測データ等に変化のあった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山
等の丸付き数字 : 火山活動度レベル

図 1 活動解説を掲載した各火山の今期間の活動状況

【各火山の活動解説】

各記号の意味は次のとおり。▲：噴火が観測された火山。●：活動が活発もしくはやや活発な状況である火山。○：静穏な状態であるが観測データ等に変化があった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山。

● なるまへさん 樽前山 【やや活発な状況】

A 火口及び B 噴気孔群では依然として高温の状態が続いていると推定される。
樽前山の火山活動はやや活発な状況が続いており、火口周辺では注意が必要である。
なお、噴煙活動・地震活動は低調な状態が続いており、地殻変動に特段の変化はなかった。

● みやけじま 三宅島 【やや活発な状況】

噴煙高度は火口縁上概ね300mで推移した。火山性地震はやや多い状態が続いている。
今期間は火山ガス観測を行わなかったが、三宅村によると山麓では時々高濃度の二酸化硫黄が観測されており、噴煙活動に大きな変化が見られないことから、依然として多量の火山ガスの放出が続いていると推定される。
特に風下にあたる地区では火山ガスに対する警戒が必要である。また、雨による泥流にも注意が必要である。
なお、火山性微動は観測されず、地殻変動に特段の変化はなかった。

● いおうじま 硫黄島 【やや活発な状況】

国土地理院及び防災科学技術研究所の観測によると、2006 年 8 月に始まった島北部を中心とした島全体の大きな隆起の地殻変動はやや鈍化しながらも継続しており、島内の地震活動は地震回数がやや多いものの落ち着いた状況で推移している。
硫黄島の火山活動はやや活発な状況が続いており、従来から小規模な水蒸気爆発が見られていた領域では、今後も注意が必要である。

● ふくとくおか の ぼ 福德岡ノ場 【やや活発な状況】

25 日に海上自衛隊が、27 日に第三管区海上保安本部が上空から行った観測によると、福德岡ノ場付近の海面に、火山活動によるとみられる乳白色の変色水が確認された。なお、付近に浮遊物は認められなかった。

● さくらじま 桜島 【比較的静穏な噴火活動（レベル2）】

今期間は天候不良のため山頂付近の状況はほとんど確認できず、昭和火口および南岳山頂火口の噴火は観測されなかった。
火山性地震及び火山性微動は少ない状態が続いている。
京都大学防災研究所、東京工業大学及び東京大学によると、二酸化硫黄放出量は今年 5 月の昭和火口の噴火開始以降、一日あたり 2,000～3,000 t に増加したが、6 月にはいった元の日あたり数百 t に戻っている。
国土地理院の GPS 観測によると、あいら 始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ注入による長期的な膨張傾向が続いている。
桜島では長期的に噴火活動が継続している。昭和火口及び南岳山頂火口から半径 2 km 以内では注意が必要である。

● さつまいおうじま 薩摩硫黄島 【やや活発な状況（レベル2）】

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発な状態が続いている。今期間は天候不良のため硫黄岳山頂火口の噴煙の状況はほとんど確認できなかったが、27 日に火口縁上 100m まで上がるのが観測された。火山性地震はやや多い状態が続いている。
薩摩硫黄島の火山活動はやや活発な状況が続いており、硫黄岳山頂火口周辺では注意が必要である。

● ^{くちのえらぶじま} 口永良部島 【やや活発な状況（レベル2）】

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

口永良部島の火山活動はやや活発な状況が続いており、^{しんだけ}新岳火山周辺では注意が必要である。

なお、遠望カメラ（新岳火山の北西約3kmに設置）による観測では、新岳火山周辺の噴気等は観測されなかった。地殻変動に特段の変化はなかった。

● ^{すわのせじま} 諏訪之瀬島 【活発な状況（レベル3）】

今期間、噴火は観測されず、火山性地震及び火山性微動も少ない状態で経過した。

諏訪之瀬島では、長期にわたり噴火を繰り返すなど火山活動は活発な状況が続いており、^{あたけ}御岳火山から半径2km以内では注意が必要である。

表1 最近1か月に記事を掲載した火山及び各火山のレベル

概況番号	対象期間	北海道		東北	関東・中部				伊豆・小笠原諸島				九州・南西諸島											
		樽前山	倶多楽	吾妻山	草津白根山	浅間山	御嶽山	伊豆大島	三宅島	硫黄島	福徳岡ノ場	九重山	阿蘇山	雲仙岳	霧島山（新燃岳）	霧島山（御鉢）	桜島	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島				
				記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル		
26	6/22-6/28	●		①	①	①		①	●●●		①		①		①		①	②●	②●	②●	②●	③		
25	6/15-6/21	●		①	①	①		①	●●		①		①		①		①▲	②●	②●	②●	③			
24	6/8-6/14	●	◇	①	①	①		①	●●		①		①		①		①▲	②●	②●	②▲	③			
23	6/1-6/7	●		①	①	①		①	●●		①		①		①		①▲	②●	②●	②▲	③			
22	5/25-5/31	●		①	①	①	◇	◇	●●		①		①		①		①▲	②●	②●	②▲	③			

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報 第25号	6月22日 16:30	最近の火山活動評価。6月15日～6月22日16時までの活動状況。19日に行った二酸化硫黄放出量観測の結果。